

平成 28 年 6 月 10 日(金)



新年度を迎えて

副会長 吉田 健治

さる五月七日に藤野地区町内会連合会平成二十八年定期総会が行われました。例年のとおり前年度の事業・決算・監査の報告を承認したあと、平成二十八年の計画について協議し、承認されました。

本年度は、会運営の基本となる重点目標を十四項目定めましたが、特に意識して取り組むべきとした点がいくつかあります。

一点目は、過去に先輩の皆さん方が作成された「藤野地区まちづくりビジョン」を読み返そう、ということ。見直して変更しよう、ということではなく、かつて目指した目標と現状は同じ方向を向き、そして目標に近づいているかを冷静に検証する必要があると感じているからです。

二点目は、各町内会の活動について情報交換を一層

緊密にするため、各会長による理事会の回数を増やすことです。藤野地区には十九の町内会があります。情報交換により、町内会運営上の問題解決の知恵を出し合い、それぞれの活動の効率化を図り、各町内会活動の活性化をめざします。

このほかにも、これまでどおり同じ地域に住む住民の一体感を深めるため、藤野ふるさとまつりや雪中運動会などの各種行事。また「花とみどり・文化と福祉のまち藤野」をさらに高めるための花いっぱい諸事業や文化展、さらに子どもたちに地域を意識してもらおうためのふじの子ども会議など、「住んで良かった藤野」を共感できるよう、今年も地域の皆さんと協力しながら活動を進めていきます。

本年度も皆様のご支援をお願いいたします。

平成二十八年藤野地区定期総会 「住んでよかった藤野」のまちづくりを邁進

平成二十八年五月七日(土) 十三時

平成二十八年年度の藤野地区町内会連合会の定期総会が五月七日(土) 十三時より藤野地区センターアリーナで、各単町の代議員、町連理事、役員が参加して行われた。町連会長寺田良男氏の挨拶のあと、藤が丘西町内会の白石博章氏を議長に選出し議案の審議に入った。

議案第一号

平成二十七年事業報告概要、個別具体的内容、各部門別実施状況報告

議案第二号

平成二十七年収支決算報告
①藤野地区町内会連合会一般会計報告(別掲)
②特別積立金・別途基金について
③第二十五回藤野ふるさとまつり会計
④藤野太鼓保存会会計

議案第三号

平成二十七年監事監査報告
山形監事から監事監査報告がされた。

議案第四号

平成二十八年収支予算(案)
①藤野地区町内会連合会一

議案第五号

役員選任については、理事の一部交代、前町連会長の高氏の相談役への就任が承認された。

一般会計

②第二十六回藤野ふるさとまつり予算
③藤野太鼓保存会会計
④単位町内会助成金等明細

感謝状贈呈式

総会終了後、地域功労者に感謝状が南区長の高野馨様から贈呈された。

区長表彰

- 中西 敬一郎氏 (前東藤野町内会会長)
- 内田 清吉氏 (前藤野三区町内会副会長)
- 小林 雄二氏 (前高見台町内会体育部長)

平成二十八年事業計画

重点目標

概要

前年度に引き続き「藤野地区まちづくりビジョン」に掲げる基本理念を根底にして、**花とみどり・文化と福祉のまち藤野**をまちづくり指針に掲げ、七項目の目標と課題に取り組み、組織一丸となって活動することにより「住んでよかった藤野」のまちづくりに邁進する。

各部門別個別活動計画

総務部

一、藤野地区まちづくりビジョンの具現化に向けた事業の推進と関係機関調整を図る。

- 二、会報「ルピナス」の充実により藤野地域の情報発信に努め、各単町間の情報交換を一層緊密にし、各町内会活動の活性化と充実に努める。
- 三、総会、四役会、理事会、役員会、専門部役員会等各種会議を開催する。
- 四、藤野地区各単町の連携を深め、住民の一体感を一層高めるため、第二十六回藤野ふるさとまつりを実施する。
- 五、平成二十九年ふるさと藤野新年交礼会を企画し、開催する。
- 六、藤野地域に根ざした伝統と文化を守るため、藤野音頭、藤野太鼓の普及に務める。文化展を開催し、文化のまちとして向上を図る。
- 七、高齢化、少子化等に対応するため、各種行政機関や藤野地区社会福祉協議会等と連携し、社会福祉活動の充実強化を図る。
- 八、各行政機関等との連携



を深め、自主防災力の強化や研修会等によりスキルアップを図っていく。

九、定山溪沿線協議会の一員として、沿線地域課題への積極対応を行う。

十、「特別積立金」について、適正に管理し運用する。

十一、経費の節約・効率化に努め、充実感のある運営を目指す。

会計部

一、町連会計業務全般、会計監査への対応。

広報部

一、会報「ルピナス230」の発行。ふるさとまつりチラシ作成。

福祉部

一、高齢者を励ます活動、敬老メッセージを作成贈呈する。

二、福祉部長・民生・児童委員合同情報交換会の開催。

三、地区社協ほか関係諸団体との連携、協力、支援。

四、「ふじの子育てサロンフェスタ」の開催支援。

地域安全部

一、交通安全運動街頭啓発運動の実施。

二、交通安全関係者会議の開催。

三、単町地域安全担当者研修会の開催。

四、少年消防クラブBFC「ふじの」活動への補助。

五、「交通安全の旗」・「防犯の旗」・「防火の旗」を作製し、配付する。

六、南警察署生活安全課と調整しながら防犯パトロールの実施。

七、非常用無線機を活用した通信訓練の実施。

八、AEDの使用講習会、救急サポーター事業への登録推進。

体育部

一、豊栄山登山会。(山開き登山、例会登山、納会登山)

二、少年少女ドッジボール大会の実施。

三、藤野地区パークゴルフ大会の実施。

四、雪中運動会の実施。

青少年部

一、青少年部長会議の開催。

二、ふるさとふじの子ども会議の開催。

三、鑑賞会の開催。

四、新春書初め会の開催。

女性部

一、女性部会・ガン検診の啓発。

二、リーダー研修。

三、女性部新年交流会の開催。

四、交通安全母の会による交通安全街頭啓発・新入学児童の啓発。

五、講習・研修会。

文化部

一、文化展の開催

二、藤野の文化の普及と伝承。

環境部

一、環境部長会議の開催。

二、クリーンさつぽる推進協議会役員研修会・役員会等への参加。

三、フラワーガーデニング展の開催。

四、秋の園芸講習会の開催。

五、花いっぱい運動の推進。

平成二十八年度

藤野地区町内会連合会役員

相談役 田中 義一(本通)

会長 大高喜代一(第二)

副会長 寺田 良男(隣谷)

石村 勇雄(十五島)

仙北 英治(本通)

吉田 健治(野々沢)

星野 数夫(隣谷)

伊藤 邦憲(高台)

山形 博(富士見)

菅野 暁子(第一)

澤田 勇(第二)

船越 盛正(三区)

飯森 禮子(富士見)

高田 英敏(緑町)

田中 一男(中央)

岩崎 耐輝(高台)

是安 恒夫(高見台)

清水 生彦(白樺)

小田 勝義(西藤野)

佐藤 順一(白川)

佐藤 悦子(隣谷)

船橋 廣光(隣谷)

阿部 孝司(東藤野)

堀 武(本通)

石川 朝臣(隣谷)

森永 和雄(高台)

平間 吉春(本通)

阿部 昇(三区)

地域安全部

中居 のぶ(隣谷)

清野 昭一(白樺)

関根 誠(十五島)

佐々木 理郎(三区)

大熊 成子(十五島)

八重崎 泰則(隣谷)

宮里 紀詮(十五島)

真保 和子(野々沢)

大越 龍幸(野々沢)

河野 秋子(西藤野)

伊藤 洋子(十五島)

斎道 弘子(野々沢)

弘津 真理子(隣谷)

長谷川 妙子(緑町)

伊東 慶子(野々沢)

館谷 加奈男(隣谷)

古川 和夫(第二)

八幡 忠幸(三区)

山口 誠一(富士見)

環境部

安田 英子(隣谷)

第26回 藤野ふるさとまつり

期 日 平成28年8月6日(土)
雨天の場合 翌日7日(日)

会 場 東光ストア駐車場
(南区藤野2条4丁目1-1)

平成27年度 藤野地区町内会連合会一般会計決算書
期間 27.4.1～28.3.31

収入の部

(単位 円)

科 目	27年度予算額	27年度決算額	増 減	摘 要
繰越金	681,746	681,746	0	
町連会費	1,676,500	1,676,500	0	6,706世帯×250円(1世帯減)
市等からの助成金	2,990,380	2,919,296	△ 71,084	
地域振興 町連	760,600	760,600	0	算定基準による世帯割100円、均等割9万円(住民組織 助成金)
地域振興 単町	1,309,780	1,309,780	0	6,706世帯×130円+基準割額(住民組織 助成金)
地域ふれあい事業等	860,000	848,916	△ 11,084	南区地域ふれあい事業助成金、ふるさとまつり
防災活動支援事業	60,000	0	△ 60,000	
募金交付金	130,000	124,601	△ 5,399	日赤募金交付金、共同募金交付金
雑収入	700,000	684,323	△ 15,677	広告料17万円、会費31万円、日赤4万円、預金利息1万円、コピー等15万円
その他収入	660,000	660,000	0	社協使用料48万円、事務所借上補助18万円
合 計	6,838,626	6,746,466	△ 92,160	

支出の部

科 目	27年度予算額	27年度決算額	増 減	摘 要
諸経費	3,040,000	2,697,410	△ 342,590	
事務費	1,180,000	849,447	△ 330,553	事務用品(文具消耗品・コピー用紙・雑費)、人件費32万円、通信費、印刷費、他
交通費	50,000	50,000	0	各種行事参加交通費
総会・新年会費	410,000	424,524	14,524	総会、懇親会11万円、新年交礼会30万円、関連諸経費
会議費	100,000	62,836	△ 37,164	理事会、役員会、部長会、その他諸会議、会場費
慶弔費	30,000	0	△ 30,000	慶弔諸費用
渉外費	160,000	160,000	0	会長の各種行事参加活動費
団体負担金	190,000	198,637	8,637	防火2万円、防犯2.6万円、クリーンさっぽろ衛生1.9万円、沿線協議会6.6万円
その他経費	920,000	951,966	31,966	上記に該当しない経費、賃借料72.8万円、損保2万円、冷蔵庫14万円
事業費	2,104,000	1,776,201	△ 327,799	
総務部費	70,000	31,217	△ 38,783	総務諸経費(情報委員会含)
広報部費	555,000	475,924	△ 79,076	ルピナス発行3回、編集・取材費等47.5万円
体育部費	210,000	209,790	△ 210	スポーツ・レクリエーション活動(ドッジボール、雪中運動会、PG、登山会等)
青少年部費	210,000	193,927	△ 16,073	ふるさと ふじの子ども会議2万円、鑑賞会11万円、書初め会2万円、他
女性部費	189,000	164,119	△ 24,881	地区行事、交通安全推進、交通安全母の会
福祉部費	70,000	64,432	△ 5,568	社協との協力、支援等
地域安全部費	120,000	103,482	△ 16,518	地域安全活動(交通安全、防犯、防災、青色回転灯)、少年消防クラブ2万円
文化部費	100,000	78,279	△ 21,721	地域文化展、写真展・藤野文化の伝承 等 関連経費
環境部費	120,000	110,515	△ 9,485	環境清掃、クリーンさっぽろ、花いっぱい運動(花の実技研修・ガーデニング)
ふるさとまつり事業費	460,000	344,516	△ 115,484	事業費の負担増に伴う助成金(日赤4万円含)
地域振興 単町 助成金	1,309,780	1,309,780	0	住民組織助成金
募金交付金	110,000	94,768	△ 15,232	日赤・共同募金活動交付金(単町への配分)
防災活動支援事業助成	60,000	0	△ 60,000	
小 計	6,623,780	5,878,159	△ 745,621	
予備費	214,846	0	△ 214,846	
繰越金(預金・現金)	0	868,307	868,307	JA南、北門信金
合 計	6,838,626	6,746,466	△ 92,160	

平成28年度 藤野地区町内会連合会一般会計予算書
期間 28.4.1~29.3.31

収入の部

(単位 円)

科 目	27年度決算額	28年度予算額	増 減	摘 要
繰越金	681,746	868,307	186,561	
町連会費	1,676,500	1,674,250	△ 2,250	6,697世帯×250円(1世帯減)
市等からの助成金	2,919,296	2,918,310	△ 986	
地域振興 町連	760,600	759,700	△ 900	算定基準による世帯割100円、均等割9万円(住民組織 助成金)
地域振興 単町	1,309,780	1,308,610	△ 1,170	6,697世帯×130円+基準割額(住民組織 助成金)
地域ふれあい事業等	848,916	850,000	1,084	南区地域ふれあい事業助成金、ふるさとまつり
防災活動支援事業	0	0	0	
募金交付金	124,601	120,000	△ 4,601	日赤募金交付金、共同募金交付金
雑収入	684,323	670,000	△ 14,323	広告料17万円、会費31万円、日赤4万円、預金利息1万円、コピー等14万円
その他収入	660,000	660,000	0	社協使用料48万円、事務所借上補助18万円
合 計	6,746,466	6,910,867	164,401	

支出の部

科 目	27年度決算額	28年度予算額	増 減	摘 要
諸経費	2,697,410	2,520,000	△ 177,410	
事務費	849,447	550,000	△ 299,447	事務用品(文具消耗品・コピー用紙・雑費)、通信費、印刷費、他
交通費	50,000	80,000	30,000	各種行事参加交通費(会長、副会長、総務部長、会計部長等)
総会・新年会費	424,524	440,000	15,476	総会、懇親会11万円、新年交礼会30万円、関連諸経費
会議費	62,836	100,000	37,164	理事会、役員会、部長会、その他諸会議、会場費
慶弔費	0	30,000	30,000	慶弔諸費用
渉外費	160,000	220,000	60,000	会長、副会長の各種行事参加活動費
団体負担金	198,637	210,000	11,363	防火2万円、防犯2.6万円、クリーンさっぽろ衛生1.9万円、沿線協議会6.6万円
その他経費	951,966	890,000	△ 61,966	上記に該当しない経費、賃借料72.8万円、損保3万円、除雪代街路電気料7万円他
事業費	1,776,201	2,008,000	231,799	
総務部費	31,217	70,000	38,783	総務諸経費(情報委員会含)
広報部費	475,924	480,000	4,076	ルピナス発行3回、印刷他編集・取材費等
体育部費	209,790	210,000	210	スポーツ・レクリエーション活動(ドッチボール、雪中運動会、PG、登山会等)
青少年部費	193,927	210,000	16,073	ふるさと ふじの子ども会議2万円、鑑賞会11万円、書初め会2万円、他
女性部費	164,119	178,000	13,881	地区行事、交通安全推進、交通安全母の会
福祉部費	64,432	70,000	5,568	社協との協力、支援等
地域安全部費	103,482	170,000	66,518	地域安全活動(交通安全、防犯、防災、青色回転灯)12万円、少年消防クラブ5万円
文化部費	78,279	100,000	21,721	地域文化展、写真展・藤野文化の伝承 等 関連経費
環境部費	110,515	120,000	9,485	環境清掃、クリーンさっぽろ、花いっぱい運動(花の実技研修・ガーデニング)
ふるさとまつり事業費	344,516	400,000	55,484	事業費の負担増に伴う助成金(日赤4万円含)
地域振興 単町 助成金	1,309,780	1,308,610	△ 1,170	住民組織助成金
募金交付金	94,768	95,000	232	日赤・共同募金活動交付金(単町への配分)
防災活動支援事業助成	0	0	0	
備品積立	0	300,000	300,000	2か年分
小 計	5,878,159	6,231,610	353,451	
予備費	0	679,257	679,257	
繰越金(預金・現金)	868,307	0	△ 868,307	
合 計	6,746,466	6,910,867	164,401	

町内会紹介

小鳥の村町内会

藤野第二町内会 会長 澤田 勇



平成二十八年四月二十四日、第二町内会定期総会において第七代会長に選出された澤田と申します。どうぞ宜しくお願いします。

皆様ご存知とは思いますが、当町内会は小鳥の村町内会とも言っており多種多様の鳥が生息しております。

町内会組織としては、会長以下役員三十二名、班は十三個班に編成し班長、副班長以下二十五名総勢五十七名で町内会活性化のために努力をしております。

年間の行事としては、春、秋の藤の沢神社祭り(山の神)、札幌育児園との合同運動会、こどもを中心

とした七夕、敬老祝賀会等種々の行事を行っており町内会会員の意識の高揚及び意思の疎通おも図っております。

また、冬期間においては、建設会社と契約をし、町内の生活道路の排雪事業を実施し緊急事態に対処しうる道路の確保に努めております。

社会福祉事業関連に於いては、民生・児童委員、福祉部、こども見守り隊等町内会員の協力を得ながら高齢者の見守り、こどもの見守りを実施し安全、安心のまちづくりに神経を傾注しております。

今後については、熊本県震災の大きな災害及び台風、大雨等による土砂災害等町内としても、何らかの検討が必要になって来るのではないかと思っております。ぜひ町内会員の皆様の

お知恵を拝借し、安全意識の高揚と町内発展のため努

力したいと思っておりますので宜しくお願いします。

児童の交通安全を願って

町連女性部

四月六日(水)藤野地区の小学校(藤の沢小・藤野小・藤野南小)で入学式が行われた。女性部では新入

学児童の交通事故防止を願って新しいランドセルを背負って登校してきた新一年生に、「入学おめでとう」「交通事故

に気をつけて」と呼びかけ、入学祝い品をプレゼント、啓発活動を行った。今後も国道二三〇号線や学校近くの道路で、交通安全街頭啓発を行っていく。

「入学おめでとう」「交通事故

小金湯さくらの森開園

四月二十九日(金)、藤野地区町内会連合会が定山溪沿線町内会連絡協議会の一員として、建設当初から参画していた「小金湯さくらの森」がオープンした。

オープンセレモニーには、本会から寺田会長はじめ副会長らが出席、藤野太鼓保存会がオープニングで「藤野太鼓」を演奏して開園を祝った。今後その運営に参画し支援していく。

編集後記

五十年ほど前に発表されたプレートテクトニクス理論により、地震のメカニズムはかなり明らかになってきたが、その予知は難しいらしい。熊本地震では一ヶ月たった今も、震度三以上の地震が頻発している。家が倒壊し避難生活を余儀なくされている人が多い中、市民ボランティアによる支援、各地からの義援金など心温まる話題も聞かれる。一日も早い復興を祈りたい。地震などの災害はいつどこで起きるかわからない。地域の住民みんなが避難場所の確認など防災意識をもち、日頃からいざという時のために備えたいものである。(M)

ルピナス第九五号
・平成二八年六月十日発行
・発行人 寺田 良男
・編集人 森永 和雄
・平岡 吉春
・生出 隆亮
・定塚 章
・印刷所 札幌大同印刷株
・連絡先 ☎五九二一四一七八(森水)

